

競技上・審判上の注意

【競技上の注意】

1. 本大会は、2025年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程、及び公認審判員規程により運営する。

本大会で使用する用器具は、公益財団法人日本バドミントン協会検定合格品とし、シャトルは2025年度公認検定合格品を使用する。

大会期間中に熱中症等の発生が予想される状況になった場合は、レフェリーの判断により選手の健康状態・試合進行状況をみて対応する。

2. 参加申込後の監督・選手変更は、疾病、傷害等の特別な場合以外は認めない。監督・選手に変更がある都県は、都県体育（スポーツ）協会会長、都県バドミントン協会会長の承認の上、所定の様式に記入し、監督会議の開催前に監督会議受付に提出するものとする。

3. オーダーの交換について

- (1) オーダー用紙は本会本部用・相手チーム用・自チーム用の3枚複写のものを使用する。
- (2) ブロック別リーグに使用するオーダー用紙は、監督会議で配布する。
- (3) 第1試合目のオーダー交換は、オーダー交換所にて8月23日（土）は8時20分から、8月24日（日）は8時40分から行う。

第2・3試合目のオーダー交換の時間は、会場アナウンスにより連絡する。

- (4) 8月24日（日）のオーダー用紙は、ブロック別リーグ終了後、大会本部で配布する。

4. 練習について

- (1) 練習時間及び練習コートの割当ては、監督会議の資料による。
- (2) 練習開始前の空きコートでの練習は認めない。
- (3) 試合開始前の練習は、ダブルスはパートナー同士、シングルスは対戦者同士により、2分間以内の練習を認める。

5. インターバルについて

- (1) すべてのゲームにおいて先行するサイドが11点になった時、60秒を超えないインターバルを認める。また、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。

6. ベンチ席について

- (1) ベンチ入りは、当該チームに登録された監督・選手のみとする。尚、競技フロア内では必ず配布したIDカードを携帯すること。
- (2) 8月23日（土）のブロック別リーグ戦では、各ブロックの若い番号のチームが主審から見て右側のベンチとする。
- (3) 8月24日（日）の通過決定戦ではAブロックのチームが主審から見て右側のベンチとする。

7. 競技の服装について

- (1) 競技に着用するウェア（上衣）には、背面中央に縦 6～10cm、横 30cm 以内の範囲に都県名（漢字）のみを明示すること。また前面にはメーカーロゴ以外何も表示しないこと。文字は明瞭な文字を使用し、文字の色は上衣背面の色と明確に区別できる色とする。
- (2) ゼッケンを使用する場合、ゼッケンの大きさは縦 15cm 横 30cm を基準とし、必ず四隅を固定すること。
- (3) 監督についても、7 分丈のズボンや T シャツ等、競技の品格を損なう服装は認めない。この判断はレフェリーによる。

8. 携帯電話・モバイル機器について

- (1) 競技エリア内では、ベンチ入りした監督・選手は携帯電話を持ち込まないか、持ち込む場合は電源を切ること。
- (2) 試合中、競技エリア内では、携帯電話・パソコン等、それに類似したいかなるモバイル機器をも使用してはならない。

【審判上の注意】

1. スピンサーブ（通称）は正式に使用禁止となりました。
2. 審判員の構成について
 - (1) 本大会の審判は、群馬県バドミントン協会が担当する。
 - (2) ブロック別リーグ戦及び通過決定戦の審判は、主審 1 名、サービスジャッジ 1 名、線審 2 名、得点表示 1 名で構成する。
3. 主審が認めたプレーの中断以外は、プレーヤーはプレーを故意に遅らせたり中断をしたりしてはならない。
4. 審判の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーと監督に限り質問することができる。ただし、抗議あるいは抗議とみなされる言動をしてはならない。
5. シャトルの交換は主審が決定する。尚、一対抗戦は同一銘柄とし、銘柄の変更はしない。